



## 設立50周年に寄せて

富山県知事  
新田 八朗

富山県道路公社が設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴公社には、昭和46年の設立以来、立山有料道路や能越自動車道の整備・運営を通じて、円滑な交通の確保と地域の発展に大きく貢献いただいております。

本県が世界に誇る山岳観光ルート「立山黒部アルペンルート」を形成する立山有料道路は、経由する「立山弥陀ヶ原・大日平」が、平成24年にラムサール条約湿地に登録され、魅力が一層高まっており、四季折々の美しい大自然を求める国内外の多くの皆様に利用されています。一方で、供用開始から年数も経過しており、安全な交通の確保のため、老朽化対策や防災対策を着実に進めています。

また、北陸自動車道や東海北陸自動車道と直結する極めて重要な高規格道路である能越自動車道は、平成27年に富山県内区間が全線開通し、より多くの方にご利用いただけるよう、様々な施策に取り組まれています。

ここに、歴代役員をはじめ、職員の皆様や関係の皆様の長年にわたるご尽力に対し、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、本県は、日本海側の中心に位置し、東西南北の各県・地域、さらには世界をもつなぐ「北陸の十字路」です。この強みを活かし、県民や民間企業、そして市町村が「ワンチームとやま」としてスクラムを組めば、あらゆる分野で「地方の時代」のトップランナーへと飛躍することができます。その実現に向けて、主要となる道路を管理する貴公社の役割は、とても大きいものと考えています。

貴公社には、このたびの設立50周年を契機として、今後とも事業の充実に努められ、県民の皆様が希望と笑顔に満ちあふれ、夢を叶えることができる、ワクワクする新しい富山県の実現に向けて、一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、富山県道路公社の限りないご発展と関係の皆様の今後ますますのご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



## 設立50周年を迎えて

富山県道路公社 理事長

蔵堀 祐一

富山県道路公社は、地方道路公社法に基づき昭和46年に設立され、今年、半世紀(50周年)の節目を迎えました。

設立以来、地域経済の発展と住民福祉の増進に寄与するため、鋭意、事業を推進してまいりましたが、これもひとえに国をはじめ県・市町村、関係機関、そして地域の皆様方のご理解とご支援・ご協力の賜であり、心からお礼申し上げます。

当公社では、現在、「立山有料道路」及び「能越自動車道」の2路線の管理運営を行っています。

立山有料道路は、設立当初に当公社が買収し、維持管理してきたことから、当公社の歴史と歩みを一にしております。また、当道路は中部山岳国立公園内を走り、本県が世界に誇る霊峰「立山」へアクセスする全国屈指の山岳観光道路の一つでもあります。

一方、能越自動車道は、北陸自動車道の小矢部砺波ジャンクションから石川県輪島市までの延長約100kmの高規格道路であり、県北西部地区と全国三大都市圏を結ぶ重要な路線です。

事業を円滑に推進するため、直轄事業との合併施行により、平成8年3月に福岡インターチェンジまで、さらに、平成12年7月には高岡インターチェンジまでの13.7kmの供用を開始しました。また、高岡インターチェンジ以北については、直轄事業として整備が進められ、平成27年2月に七尾インターチェンジまで開通し、富山県内区間が全線開通となりました。

供用開始以来、当公社では経営の一層の効率化と経費削減に努め、中日本高速道路株式会社との料金の合併徴収、ETCレーンの設置、区間均一料金とすることにより料金所を一か所にして利用者の利便性向上を図るなど、利用される方に円滑で快適な高速交通サービスを提供してまいりました。今後とも、日本海国土軸の形成と広域観光ネットワークの確立に貢献していきたいと考えています。

当公社を取り巻く経済社会環境は大きく変化しておりますが、50周年の節目を迎え、役職員一同が一丸となって、県民の皆様へ安全・安心で快適な有料道路サービスを提供できるよう努めてまいりたいと決意を新たにしております。

この50周年記念誌は、先に刊行しました30周年記念誌に、その後の20年間における当公社の活動を加えて編纂いたしました。

皆様には、この記念誌をご高覧のうえ、当公社の業務と役割にご理解を賜り、ご指導とご支援をいただければ幸いです。